



阿蘇は、生きている。
—阿蘇火山の自然と人間生活による、時空を越える美—



[Aso City Tourism Division]
Akinobu Ishimatsu



阿蘇ジオパークと連携した観光危機管理の取組み

2022 Aso City Tourism Division

阿蘇市 経済部観光課

石松 昭信

Ishimatsu

Akinobu

1969年12月05日生まれ
阿蘇で生まれ、阿蘇で育ち、阿蘇で生活している

2001年 阿蘇町建設課 農村総合整備係長
▶道の駅阿蘇構想/ASO田園空間博物館の組織化

2005年 公財) 阿蘇地域振興デザインセンターに出向
▶阿蘇くじゅう観光圏(阿蘇、竹田、高千穂)の形成
▶阿蘇ユネスコ世界ジオパーク認定に貢献

2016年 阿蘇市経済部観光課 課長補佐(現在に至る)

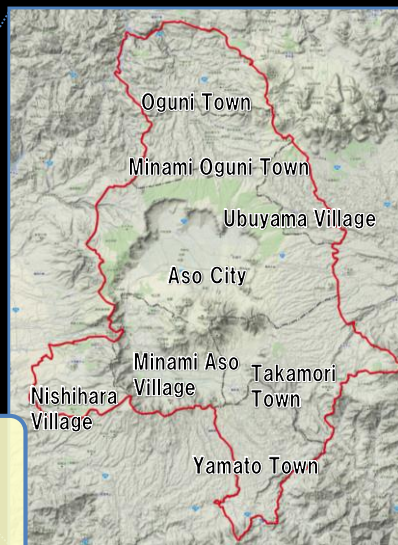
現在の業務例

- 阿蘇サイクルツーリズム学校「コギダス」による活性化
- 阿蘇竹田ブランド観光地域づくり推進協議会による推進
- 欧州へのアドベンチャーツーリズム市場へのアプローチ
- 阿蘇ナイトタイムエコノミー推進によるコンテンツ造成
- 阿蘇ワーケーション受入れ態勢の確立による長期滞在化
- 持続可能な観光地域づくりとサステナブルツーリズム



1. Characteristics of the Aso Region

1) 阿蘇の位置



Located in the centre of Kyushu,
Comprised of 1city,4towns and 3villages
In the north west of Japan.
Total Land Area: 1,198km²

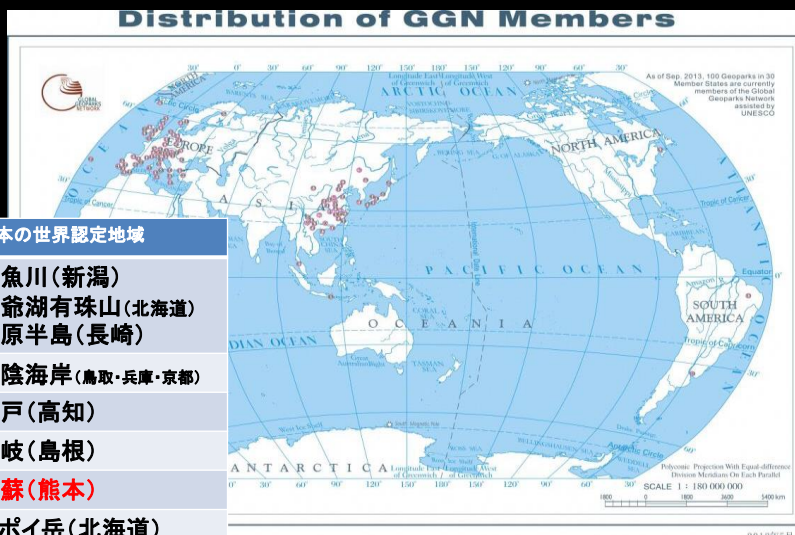
2022 Aso City Tourism Division

3) 阿蘇の地形



阿蘇ユネスコジオパーク Aso UNESCO Global Geopark
熊本県北西部・阿蘇カルデラ内外の1市4町3村(面積1,198km²)で構成。
人口約7万人 年間観光客数約1,700万人
テーマ「阿蘇火山の大地と人間生活」 **<2014年9月認定>**

4) ユネスコ世界ジオパーク認定【世界44ヶ国169地域】



認定年	日本の世界認定地域
2009	糸魚川(新潟) 洞爺湖有珠山(北海道) 島原半島(長崎)
2010	山陰海岸(鳥取・兵庫・京都)
2011	室戸(高知)
2013	隠岐(島根)
2014	阿蘇(熊本)
2015	アポイ岳(北海道)
2018	伊豆半島(静岡県)

2022 Aso City Tourism Division



2. Repeated Disasters in Aso

2022 Aso City Tourism Division

1) Northern Kyushu Torrential Rain (12 July 2012)



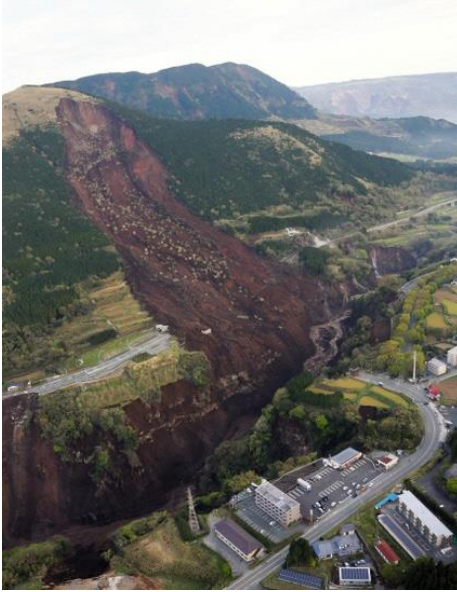
2) Nakadake Crater; Volcanic Alert Level 3 (14 September 2015)



2. Repeated Disasters in Aso

ASO GeoPARK

3) The 2016 Kumamoto Earthquake; 14 April & 16 April



2. Repeated Disasters in Aso

ASO GeoPARK

4) Explosive eruption at Mt. Nakadake at 1:46, 8 October 2016



5) Explosive eruption at Mt. Nakadake; 20 October 2021



3. From Disaster to Tourism Recovery

1) 地域で起こる確率の高い災害を把握、分類

日本有数の活動的な火山であるが故に、噴火災害に目が向けられがちだったが、これまでの豪雨災害や地震災害を機に、地域の特性を改めて理解する必要性。



噴火災害

噴火で起こる現象を知る(伝える)必要性。
 活動的ではあるが大きな噴火は20年以上無いため、
 地域における噴火災害の意識が希薄ではないか...
2015年9月～11月: 噴火警戒レベル3による被害発生



豪雨災害

カルデラの中に住むことを再認識。
 「崩れながら広がり続ける」カルデラ。平坦なカルデラ
 底で、水の流れは1ヶ所の出口(火口瀬)に集中...
2012年7月: 九州北部豪雨による土砂崩れ、浸水被害

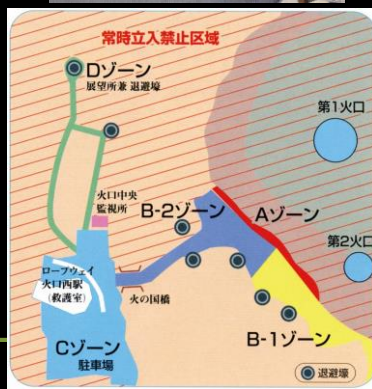
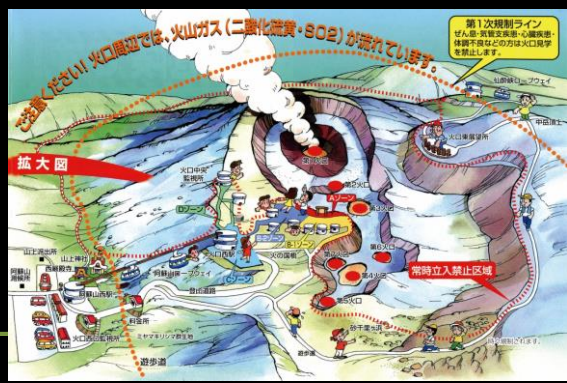
2022 Aso City Tourism Division

2) Nakadake crater; Experience the "breath of the earth"

徹底した**監視体制**による安全対策

火山ガス濃度による**ゾーニング規制**

4ヶ国語による規制情報の発信・注意喚起



3) 爆発から次の日の阿蘇山上観光の様子 (2016年10月9日撮影)



4) 少し過激なマスコミ情報 (2016年10月9日朝刊)



5) 風評被害への対策

1. 阿蘇中岳火口の正確な情報発信

- ①リーフレットを制作し、正確な情報を観光客へ発信
- ②自治体HPによる周辺観光地の画像を、リアルタイムで発信
- ③メディアを活用した、福岡エリアを中心とした情報発信

2. 旅行会社及び学校関係者へ向けたセールス活動

- ①大手旅行会社へ向け、旅館組合と連携し、セールス活動を展開
- ②関西以西の学校へ向け、正確な情報発信と合わせ、修学旅行を誘致

3. 関係団体との連携・プロモーション活動の実施

- ①JR九州の観光キャンペーンと合わせ、熊本駅及び博多駅で実施
- ②熊本県と連携し、阿蘇地域一体となった観光キャンペーンを展開



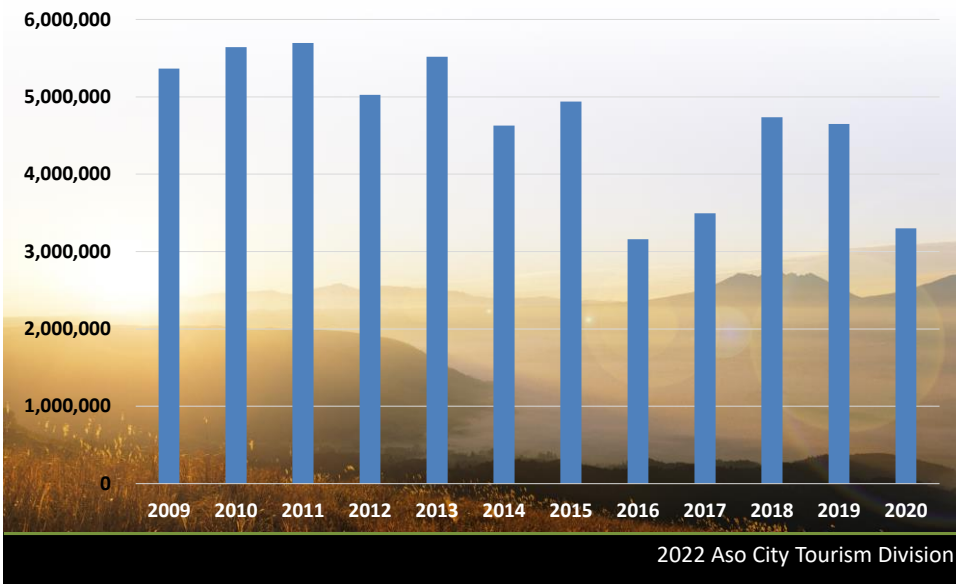
2022 Aso City Tourism Division



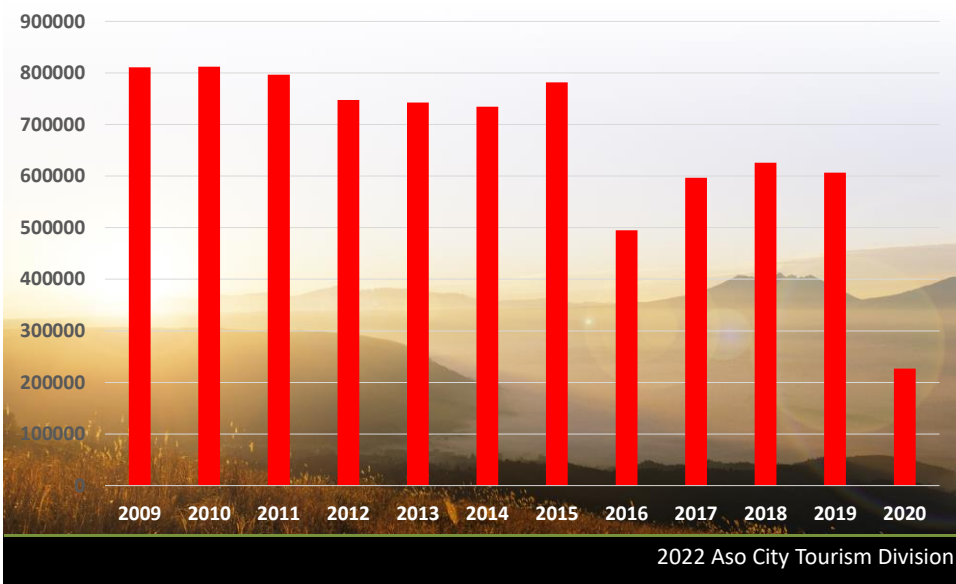
4. Tourism Trends in Aso City

2022 Aso City Tourism Division

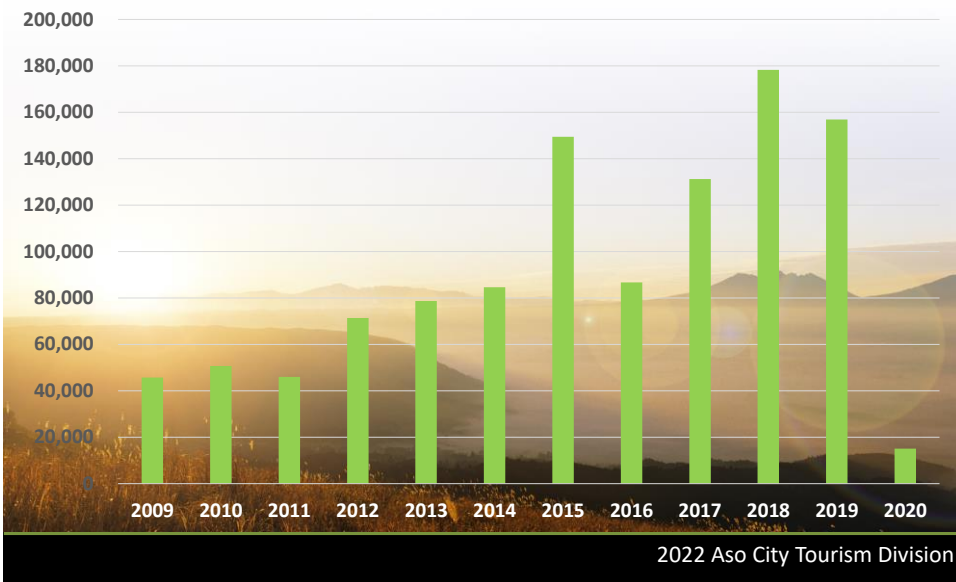
1) Tourism trends <観光入込客数の推移>



2) Tourism trends <宿泊客数の推移>



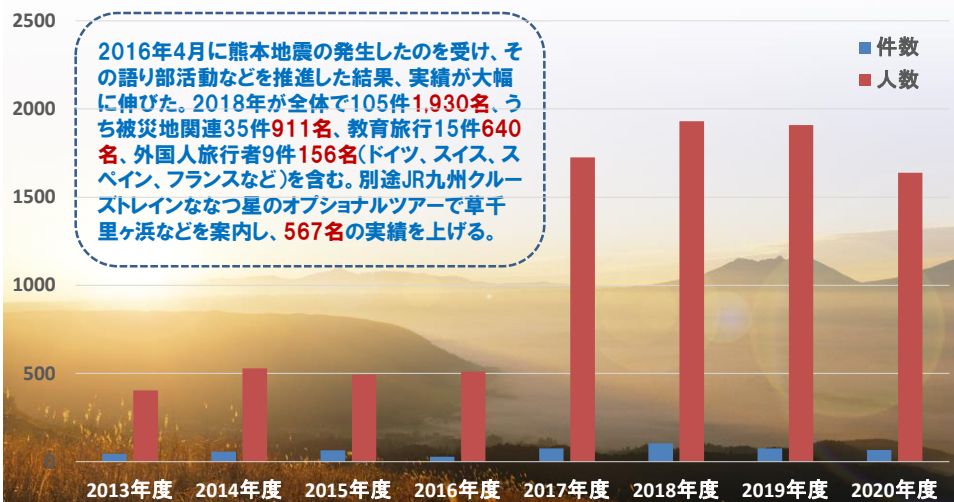
3) Tourism trends <外国人宿泊客数の推移>



4) 阿蘇ユネスコ世界ジオパークによる総合的な取り組み



5) 阿蘇ジオパークガイドの案内によるツアー実績



2022 Aso City Tourism Division



5. Toward a New Aso Tourism

2022 Aso City Tourism Division

中岳火口見学エリアの新たな整備計画に向けた挑戦

1. 中岳火口の見学再開（令和2年9月1日～）

1年4ヶ月振りとなる中岳火口の見学再開。コロナ禍への対応として、従来の安全監視に加え、有料道路手前での検温チェックやマスク着用の徹底化などを図り、安心して火口見学が出来るような体制づくりを強化。



2. 中岳火口の見学に関する現状と改善目標

平成28年10月の噴火以降、以前より火山ガスによる規制が増加し、噴火前の7割程度であった見学時間は6割を切っている。一日に何度も規制が発生し、見学者に対して十分な環境を提供できていない。この火山ガスは風向きによって移動するため、平成54年以前の見学場所であった北西側に一部見学エリアを設け、見学の機会を増や



改善策の案

3. 新たな見学エリア整備イメージ

新しい見学エリアにはバス輸送且つツアー形式による見学を想定する。



国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進

阿蘇ワーケーションの取り組み事例

ワーケーション受入れ体制の構築

コアワーキングスペース



子ども遊び・親子遊び



ファミリーアシスタント



ラゲッジサービス



ワーケーションを推進する企業

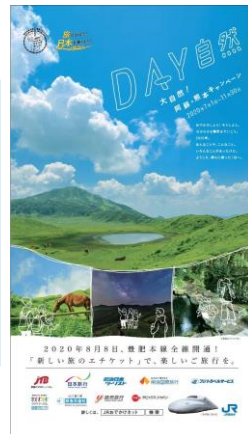


JAPAN AIRLINES

長期滞在型の旅行商品化



JR西日本



国立公園におけるワーケーション環境の確立とワーケーションツアー企画に必要なコンテンツを磨き上げ、長期滞在の実現を目指す。阿蘇で働くという新しいライフスタイルを示し、平日の活性化に寄与するとともに、将来的な移住・定住にも視野を入れる。

サステナブルツーリズムの推進

令和3年度において、阿蘇市は観光庁のモデル地区として選定（全国15地域）

日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）



日本版持続可能な観光ガイドラインの役割

- ① **自己分析ツール**: 観光政策の決定、観光計画の策定に資するガイドラインとして活用
- ② **コミュニケーションツール**: 地域が一体となって持続可能な地域／地域づくりに取り組む契機へ
- ③ **プロモーションツール**: 観光地としてのブランド化、国際競争力の向上

持続可能な
マネジメント

社会経済
のサステナビリティ

文化的サ
ステナビリティ

環境のサ
ステナビリティ

グローバルサステナブル
ツーリズム協議会 (GSTC)
GSTC-D等を開発。
GD等の認証機関の
認証プロセスを審査
し、認定する機関。

グリーンデスティネーションズ (GD)
GSTC-Dと連携
した国際認証機
関の1つであり、
観光地を認証す
る機関。

「世界の持続可能な観光地100選」の2021年版に選定

GREEN DESTINATIONS TOP 100 / Destinations Sustainability Stories Competition



千年の草原の創造的活用による阿蘇の持続的な景観保全と観光振興

阿蘇市は、国際認証の最高位である **GSTC (Global Sustainable Tourism Criteria)** の認証機関が毎年開催する表彰制度に選定。持続可能な観光の国際基準の観点から、世界のどの位置にいるのかを把握する機会であり、マネジメント・ツールとして活用する。持続可能な取組みを実施している地域の証としてブランド化へ。





For sustainable tourism development
based on Aso UNESCO Global Geopark

2022 Aso City Tourism Division

Thank you for your time



unesco
Global Geopark